

(様式第3号)

企業・団体名（株式会社サンタキザワ）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・経営企画部を窓口とする相談体制を整備すると共に担当役員によるモニタリングも実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメント禁止条項を就業規則内に規定し、経営企画部を相談窓口としている。 ・職場いきいきアドバンスカンパニー認証取得					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・自己申告制による労働時間管理を実施しているが、現場状況により過度な長時間労働の発生リスクが見込まれる場合は、担当部長と経営層の協議により人員体制の変更等を実施している。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	・現状、外国人労働者の雇用実績無いが、モンゴル人労働者受け入れを検討中。処遇については、日本人社員の就業規則に準じ対応する。				4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・現場代理人を中心に毎日現場の安全確認を行うと共に、毎月が労働安全コンサルタント同行にて店社パトロールを行い、現場の安全管理状況を検証している。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・毎年、メンタルヘルスチェックを実施。担当者が職員の精神的健康状態を確認している。また、問題のある職員については個別面接を行い、産業医の紹介等を行っている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本		【予定】	・就業規則を改定し、60歳定年後の雇用延長期限を65歳から70歳に変更する。（現在、運用で65歳超の社員を雇用中）					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・実務に必要な資格取得に向け、社員の各階層別教育計画を策定し、資格取得関連研修費用を会社負担とすることで奨励中。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パート採用および派遣社員を採用する場合は正規社員との待遇差が生じないよう努めている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社員のレクリエーション活動であるソフトボール部やサイクリング部へ会社補助を行うと共に、地域でのマラソン大会やツーリング大会への社員参加を会社として奨励している。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・解体工事現場等から生ずる廃棄物に関しては分別を徹底し、マニフェストに則り適切に処分している。											11.6 12.4		14.1				
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・排ガス抑制重機の導入を推進中。 ・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4 13.3					
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6 12.4						

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・工事現場からの排水が環境に悪影響を及ぼす可能性のある場合は、直接河川・排水溝等に排水せず、分離槽を設置している。						6.6									15		
16		【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・分別されたリサイクル資材の内、段ボール、石膏ボード等については濡れない様、保管管理を徹底。 ・エコアクション21(2025.1登録)において取り組んでいる。											12.5		14.1				
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現場で発生するボーリング削孔水を汚泥処理し、再利用中。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)			・エコアクション21を登録している。(2025.1)			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)			・エコアクション21(2025.1登録)の取り組みと合わせて環境活動報告書を作成し、HP上で開示している。											12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・工事現場での交通整理用看板、熱中症対策用機器等については、可能な限り太陽光パネルを電源としたものを活用中。							7.2						13				
21	公正な事業慣行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現場で発生する伐採木等は、処理業者にチップ化させ、発酵させることで現場の植栽肥料として活用中。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス遵守を経営基本方針内に掲げ、社内に掲示、周知徹底している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・コンプライアンス遵守を経営基本方針内に掲げ、社内に掲示し、周知徹底している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・当社知的財産である各種工事現場のデータはクラウド上で保管・共有するが、パスワード管理に加え、階層別アクセス権限管理により漏洩管理を徹底している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・社員の健康診断情報については、担当者を指名し、鍵のかかるロッカーで管理している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・弊社は建設業として、紛争鉱物購入リスクを伴う原材料調達・購入は行っていない。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・年一回、協力会社の参加も得て、安全衛生大会を開催。その一部に社会保険労務士等専門家を講師に招き、人権侵害の防止等に関し適切な対応が図られるよう勉強会を実施中。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5. 9. 5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト：https://www.biz-partnership.jp/	基本			・「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している。 (2025.10登録)			3					8	9	10							17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・安全上、一部設計変更を行うことが望ましいと判断される際は、施工業者として提案することが出来る機会を施主、設計会社との定例会議等で確保している。			3.9									12.4					
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・機能面向上等で一部設計変更を行うことが望ましいと判断される際は、施工業者として提案することが出来る機会を施主、設計会社との定例会議等で確保している。									9								
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現在、他機関との共同研究により道路の保守管理に係る技術開発を進めている。						6						12	13	14	15		
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・現在、他機関との共同研究により道路の保守管理に係る技術開発を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
33	地域貢献・社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・地域の交通インフラを支える事業として国道18号等幹線道路を中心とする冬期除雪事業の取組態勢に万全を期している。				4					9		11	12		14	15		17
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・上記の他、全国レベルでの災害対応で、国土交通省からの応援要請に対し、常時積極対応している。 派遣実績・・H26 長野県神城断層地震災害対応、H29 福井豪雪対応、R1 台風15号災害千葉県応急対応、台風19号災害応急復旧対応 等				4							11			14	15		17
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ (任意)			・地元業者を中心とするサントキザワ協力をを組成し、積極的に活用している。								8	9		11	12	13				
36	組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			・制定したグループスローガン及び社訓を毎朝朝礼時に全員で唱和。会社理念及び目標を共有している。								8	9								17
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			・毎年実施の安全衛生大会にて、労働安全コンコルタントによる安衛法等関連の勉強会を開催し、法令遵守に向けた現場教育を徹底している。																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			・責任者(担当役員)を任命している。																16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			・工事現場周辺住民への情報発信として、「現場ニュース」を発行すると共にニーズ汲み上げを目的とした対話を実施している。 ・債権者である金融機関宛に定期的に事業報告を行っている。																16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ (任意)			・BCP(事業継続計画)を策定し、事業継続において障害となるリスクを洗い出し、項目毎の対応策を整備している。																16	
41		【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・除雪事業の他、全国レベルでの災害対応で、国土交通省からの応援要請に対し、常時積極に対応している。 派遣実績・・H26 長野県神代断層地震災害対応、H29 福井豪雪対応、R1 台風15号災害千葉県応急対応、台風19号災害応急復旧対応 等																16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ (任意)			・BCP(事業継続計画)を策定し、国土交通省による基礎的事業継続力認定企業に認定(認定No.Krt15_007)されている。									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ (任意)			・グループ経営改善委員会の活動を通じ、メンバーである若手マネジメント層の育成を推進中。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、 間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定